

令和7（2025）年度第2期 後期課程

科目名	出題意図
【一般選抜】 生涯教育科学コース（英語・日本語）	日本語で書かれた文章の読解力と日本語による文章の表現力を確認することを目的とした。日本語の文章を正確に読み取れているか、読み取った文章をもとに巡らせた自分の考えを論理的で正しい日本語の文章にまとめることができているかをもとに採点を行った。
【一般選抜】 教育政策科学コース（英語）	設問Ⅱ 日本語で表現された図表を読み取る力と日本語による文章表現力、研究を具体的に計画できる力を確認することを目的とした。図表を正確に読み取れているか、また各図表間の関係を比較できているか、図表から読み取った情報をもとに自分の考えを論理的で正しい日本語の文章として書くことができているか、仮説設定・研究手法を具体的に考えることができているかをもとに採点を行った。
【一般選抜】 グローバル共生教育論コース（英語）	【設問】は、『学習：秘められた宝』を取りまとめたユネスコ21世紀教育国際委員会の委員長であったジャック・ドロールの講演に基づく文章である。国際的な教育理念に関わる専門用語を含め文章を適切に訳しているか、訳出の量はどの程度かといった観点から採点を行った。
【一般選抜】 教育情報アセスメントコース（英語）	2つの設問を課した。いずれの設問も、教育情報アセスメントコースにおける学修に必要となる英語能力を、当該コースの研究分野に即した文章を題材として評価するものである。設問Ⅰでは、英文の中から指定した語句や文の意味するところを文脈に即して説明する問題により、深い英文理解能力やそれを説明する表現力について評価した。問題文の指示に従った上で、文脈や自身の知識に基づいて内容を理解し、それを日本語で説明できているかといった観点から採点した。設問Ⅱでは、一定量の英文を和訳することで、英語論文の読解能力について評価した。大意を捉え、文や語句の意味を理解した上で、正確に日本語で表現できているかといった観点から採点した。

令和7（2025）年度第2期 後期課程

科目名	出題意図
【一般選抜】 教育心理学コース（英語）	設問B-1では、身元の分かる犠牲者効果が、幼児の向社会的行動にどのように関連するかを検討した研究論文を、設問B-2では、子どものジェンダー社会化に関する論文を題材とし、博士課程後期での学修に必要とされる教育心理学に関する基礎的知識の有無、基本的な英文和訳の能力、ならびに短時間に英文全体から必要な情報をスキミングし、論文の要旨ならびに骨子についてまとめる力について確認するといった観点から採点を行なった。設問C-1では、教育現場における自閉スペクトラム症児の社会的包摂についての研究論文を題材とし、自閉スペクトラム症児・者の障害特性、社会的包摂を妨げる要因、インクルーシブ教育を推進する上で重要な視点等に関する基本的な理解を問うことを意図した。設問C-2では、自閉スペクトラム症児の社会的認知に関する実験的手法を用いた研究論文を題材とし、社会的認知に関する先行知見や実験的操作の基本的な理解を問うことを意図した。いずれの設問においても、英語による学術論文を適切に読解できているか、用いられている日本語が学術的に適切かといった観点から採点を行なった。
【一般選抜】 臨床心理学コース（専門科目）	設問1では、子ども期の心理的トラウマが、コーピングとPTSD様の症状を介して精神健康に与える影響に関する論文を題材とした。論文で記されている研究の背景、目的、方法、結果、考察のそれぞれについて、重要なポイントを的確に理解できているかを確認した。設問2では、慢性的なストレスが若者の感情調整におよぼす影響、およびそれに対するマインドフルネスの効果に関する論文を題材とした。専門用語を含む英単語や文法に関する知識、論旨を読み取る能力、問いに対して文章を適切に要約して記述する能力、といった観点から評価を行った。